



奥田原地区のイチオシ!

まちの タカラ

持ち味は「即断即決」

～山ぶどうの会～



▲現在の活動について話す山ぶどうの会代表の市川浄子さん(中央)と会計の難波布子さん(右)、記録の篠田祥江さん(左)。

◀野菜市。地域の営農団体の助成金を活用し設備等を整え、会員の負担を減らしています。

奥田原地区で、令和2年から活動している「山ぶどうの会」。個別で高齢者世帯を支援していた住民が、地域に貢献でき、楽しく一緒に活動したいという思いで結成しました。婦人会がなくなったこの地域では、子育てが一段落ついた女性が集まる・活動する機会にもなっています。

この会の大きな特徴が、取り組みの自由さです。結成前の話し合いで、長く楽しく活動が続けられるよう、実現可能かどうかに関わらず、活発に意見を出せる場としたことが大きな要因でした。

最初はお茶会からスタートし、高齢者世帯への年賀状作成や会員と一緒に楽しめるサツマイモ植え・収穫などさまざまな活動をしています。野菜市グループでは、お裾分けやお返しといった気遣い不要でやりとりできるように、メンバーが育てた野菜を地区内にあるガレージで販売しています。夏場は旬の野菜が多い時期。販売日に決まりはありませんが、毎日のように新鮮な野菜が並びます。

代表の市川さんは「上下関係がある堅苦しい会にならないよう、私も、会長ではなく代表という一会員として活動しています。自分たちが生き生きできることを大切に活動しています」と話していました。「やりたい」をすぐ実行できる山ぶどうの会。会員がのびのびできる空気が豊かな活動につながっています。

編集後記

▼安来公園にアジサイの花がきれいに咲いており、写真を撮りに行きました。ほとんどの花は、晴天の時に撮ると映えますが、アジサイだけは、梅雨時期に咲く花だけあって、雨天時に撮った方が映えるような気がします。これからも、季節の花をその季節らしい場面で撮影していきたいと思えます(け)

▼和鋼博物館で毎年行われている、申込多数の人気公開講座「包丁研ぎ教室」。包丁は刃にタイプがあり、研ぎ方が違えば逆に切りにくくなることも。参加者は持ち込んだ包丁の種類を教えてもらい、正しい研ぎ方を学んでいました。包丁のほかにも大切な愛用品は、丁寧に整備して長く大切に使いたいですね(岩)

安来市の人口と世帯数 R5.6.30現在

人口合計 / 36,010人
(男:17,325人 女:18,685人)
世帯数 / 14,241世帯



●広報紙にあなたの写真が載りましたら、差し上げますのでご連絡ください。
●自治会宛の発送等については、地域振興課(☎23-3067)までご連絡ください。